

令和7年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

港湾-3 港湾改修事業
池島港

事業主体 長崎県

再評価の理由 再評価後変更(事業費・工期)



1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H24新規)		H24	H28	7.0	2.14	【工事概要】 北防波堤L=60m 南防波堤(改良)L=100m
第1回審議 (R3)	事業採択後 10年経過	H24	R8	23.0	1.21	【当初からの変更概要】 ・当初想定より波高が大きく、堤体幅の増、被覆工の追加等による事業費増額及び工期延長 ・労務費・資材単価増による事業費増額
第2回審議 (R7)	再評価後変更 (事業費・工期)	H24	R14	43.0	1.20	【前回からの変更概要】 ・労務費・資材単価増による事業費増額 ・冬季風浪による施工不可期間増加に伴う工期延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的

池島港は、本土との定期船が就航する島民の生活に欠かせない港湾であるが、冬季風浪や航路への土砂流入により定期船運航の支障となっている。また、南側からの波浪を抑える防波堤は、基礎の洗掘などの老朽化がみられる。

このため、北防波堤の延伸、南防波堤の改良を行い、定期船の安全な航行環境の整備による人流・物流の安定化を図る。

◆事業概要

北防波堤 60m

南防波堤（改良） 100m

◆事業経過

平成24年度	測量・調査・設計
平成25年度 ～ 令和2年度	北防波堤、南防波堤（改良）工事着手
令和3年度	事業採択後10年経過
令和7年度	再評価後変更



事業進捗率 42.3% (R6年度末事業費ベース)

3. 事業の効果・必要性（北防波堤）

< 現状 >

- ・北側からの波浪や土砂流入により**航路が埋塞**。
- ⇒定期船の操船制限（航路南側のみ通航可能）が発生するなど、**安全な航行が困難**。

< 整備効果 >

- ・整備により波浪及び土砂の流入を低減が可能となり**航路の埋塞を回避**。
- ⇒航路の安全性が向上し、**定期船の安全な航行が可能**。

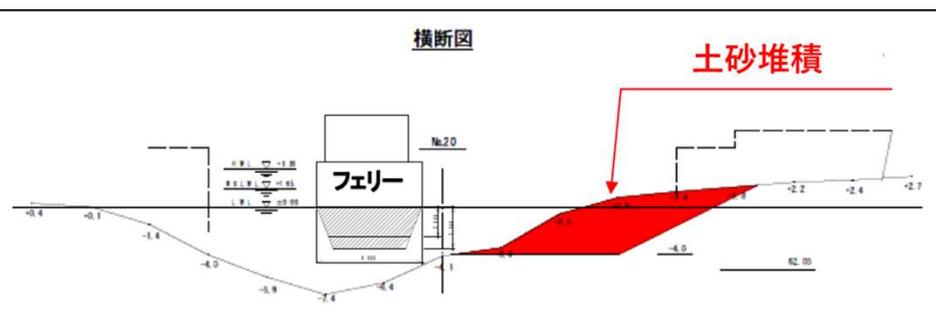
（整備前）



（整備後）



横断面



（港外側）

整備前 状況写真

（港内側）



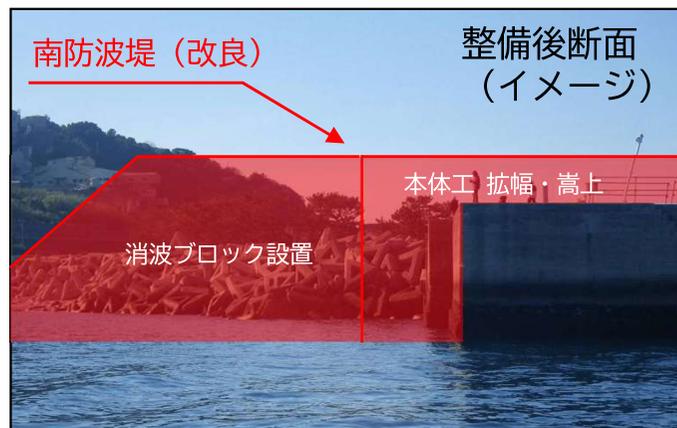
3. 事業の効果・必要性（南防波堤）

< 現 状 >

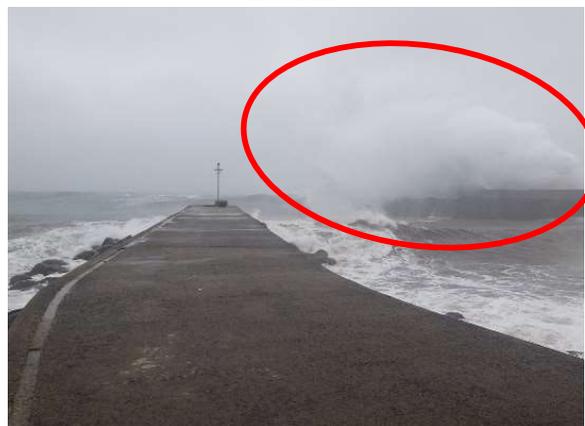
- ・整備から**47年が経過**し、本体工のひび割れや基礎の洗掘等がみられる。
- ⇒令和元年台風17号、令和2年台風7号で本体工が転倒する被災を受け、航路の運休が発生。

< 整備効果 >

- ・防波堤の**機能強化を図り、港湾機能を確保する。**
- ⇒定期船の安全・安心な航行環境の確保により**航路の安定化、島民の生活の安定**が図られる。



台風時 波浪状況 (平成30年台風7号)



被災状況② (令和2年9月 台風9号)



4. 事業の進捗状況（事業費の見直し）

◆事業費の見直し 23.0億円（前回）⇒ 43.0億円（今回）

工種	事業費増の内容	増額	主な増額理由
北防波堤 南防波堤	・労務単価等の上昇 他	約 12.0億円	・労務、資材単価等の上昇
		約 8.0億円	・作業船規格の変更（300t吊→550 t 吊） ・ブロック製作ヤードの変更
計		約 20.0億円	

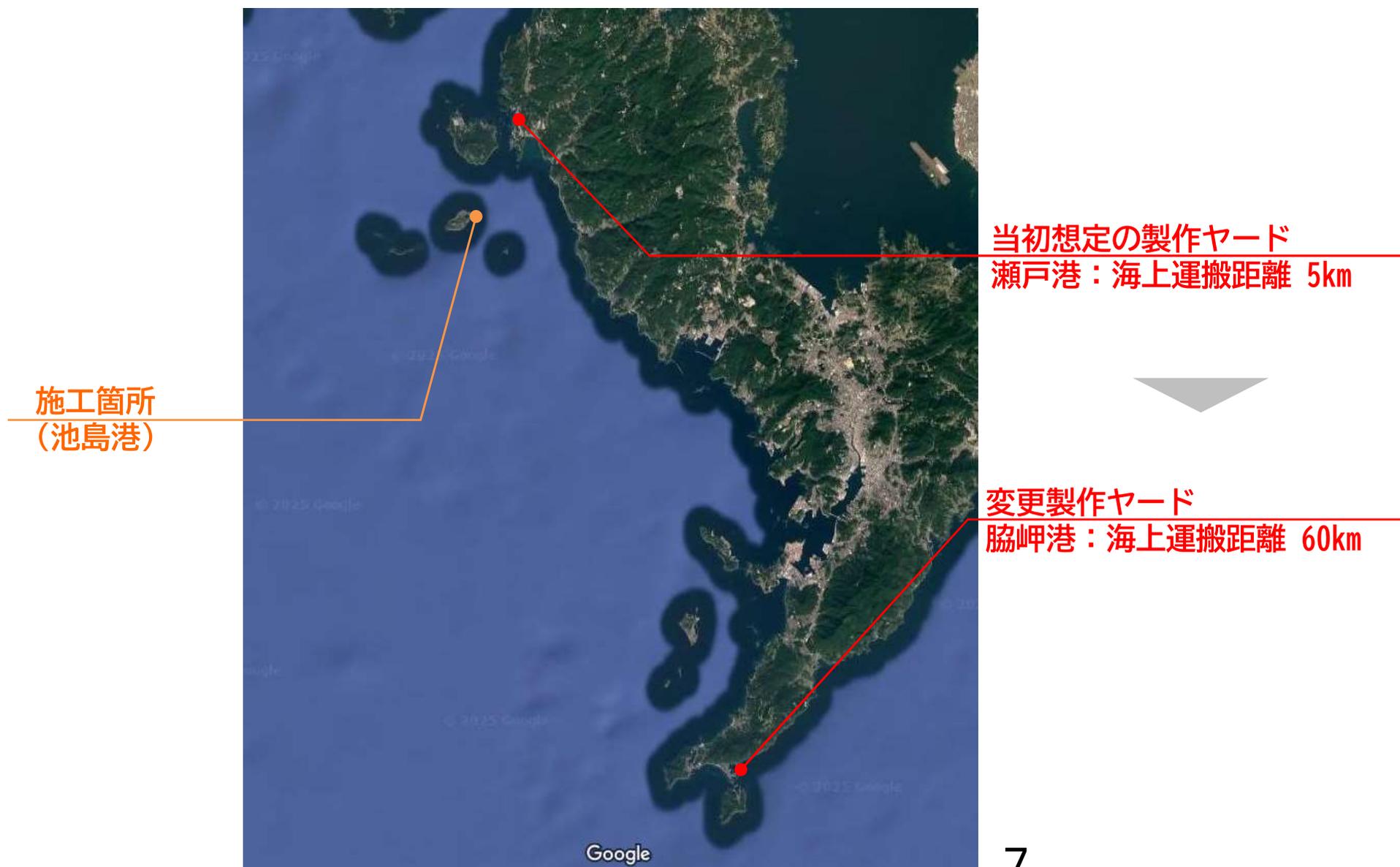
令和3年度（前回）

令和7年度（今回）

コンクリート	12,100円/m ³	20,300円/m ³	約70%増
石材	5,250円/m ³	7,750円/m ³	約50%増
潜水士船	8,680円/日	13,100円/日	約50%増
普通船員	21,200円/人	25,800円/人	約20%増

4. 事業の進捗状況（事業費の見直し）

◆事業費の見直し（ブロック製作ヤードの変更）



4. 事業の進捗状況（事業期間の見直し）

◆事業期間の見直し

【完了工期】 R 8（前回） → R 1 4（今回）

〔工期延伸要因〕

- ・ 冬季風浪による施工不可期間（11月～3月）の発生
- ・ ブロック施工ヤードの変更（運搬距離の増）に伴う作業効率の低下

【前回】

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
北防波堤						
南防波堤 (改良)						

【今回】

変更理由：冬季風浪による施工不可期間の発生

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
北防波堤												
南防波堤 (改良)												

8 冬季風浪の影響による施工不可期間の発生

5. 事業の投資効果

◆ 費用対効果 (B/C)

項目	前回評価 (令和3年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	3.02 = 30.2億円／10.0億円	3.04 = 55.4億円／18.2億円
全事業	1.21 = 30.2億円／24.8億円	1.20 = 55.4億円／46.0億円

[費用]

- ・港湾施設整備に要する事業費、港湾施設維持管理に要する費用

[便益]

- ・代替輸送、維持浚渫、施設復旧にかかるコスト削減

[プラス要因]

- ・施設復旧にかかる被害回避便益の増加（対象波浪の見直し）

[マイナス要因]

- ・資材・労務単価の上昇による事業費の増加
- ・工期の延長

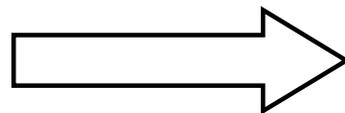
◆ B/Cでは計測できない効果

- ・池島島民、航路利用者の安心度の向上
- ・長崎市による池島炭鉱体験ツアー等の安定した実施

6. 対応方針（原案）

- ◆ 池島港は、池島の人流・物流機能を担う港湾であり、防波堤の整備は島民の安定した生活環境を確保するため重要な事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで約42.3%[18.2億円/43.0億円](令和6年度末)となっている。
- ◆ 長崎市や定期航路事業者より事業促進の要望がある。
- ◆ 事業期間の延長、事業費の増はあるものの、費用対効果が見込まれる。

対応方針
(原案)



継続